

FFG ビジネス
コンサルティングの

釣道

ちよつと
つりみち

[癒し癒され博多湾編]
Vol.10



豆アジを狩った
月下オジサン



カワイヒイカ



元気なメバルをゲット

博多湾の夜景を楽しみながら釣りに興じる

夜景という言葉に魅かれる方も多いだろう。

博多湾を臨む両サイドに港湾部が広がり、両翼を山地に挟まれた平野部の中に丘陵部が点在する福岡市の夜景は、都市のビル群の照明や灯りに、団地や住宅地などの様々な光が合わさり、観るポイントごとに多彩な景観を楽しませてくれる。

たとえば都市高速上り線を行く。百道の地下からペイペイドームを抜け、荒津大橋を渡りきる辺りから煌びやかな光の洪水の中に包まれていく感覚になる。たとえば中央区、アゴラ山の上ホテルから眺めた景観は、近代的なビル群と商業ビルの照明に立ち並ぶマンションや団地、丘陵部にある戸建住宅の灯りなどが絶妙に混じり合い、あたたかも光彩と陰影のカクテルを目で楽しませてくれているような気分になる。

FFG本社ビルのほど近く、福岡船溜りと呼ばれるところに「かもめ広場」と呼ばれる臨海公園が整備されている。夜はオレンジ色の暖かな街灯の灯りに包まれ市民の憩いの場となっている。少し歩を進め、さらに海側に近

づくると荒津大橋を下から臨めるポイントがあり、ここではペイエリアと橋と造船所の灯りとシルエツトが織り成す光と影のオブジェに圧倒される。

軽い疑似餌を付け水面の明暗に投げ込むと小気味よい魚信が来る。いわゆる豆アジである。

次は岸壁沿いに少し深めに疑似餌を落とす。衝撃的な魚信とファイト、水面を跳ね回るそいつは元気なスズキの子。テトラポットの横で頑張つてぐんぐん引つ張つてくれたのはお目々の大つきなメバル。さお先をもどかしそうに引つ張るのはヒイカと呼ばれる小さなツツイカだったり。

福博の街に冬が来て、それが去り行く間、ほんの1時間ほどあればこれだけのお魚たちが遊んでくれて楽しませてもらえる。

ご存知でしたか(笑)あ、またいつの間にか日付が変わっちゃったw
さまざまな表情を魅せてくれるこの博多湾の魅力は一度では語り尽くせません。今回は、夜景を愛でながらゆつたりと竿を振つたり、時には友や仲間と語らいもしながら穏やかに心を癒してくれる一面をお伝えしてみました。